

赤平市 学力状況のお知らせ

赤平市教育委員会
令和7年10月

赤平市では、子どもに見通しを持って考えさせ、わかったことを振り返る授業と家庭における毎日の学習を柱に子どもの学力向上を図ってまいりました。また、小学校と中学校が連携して、基礎・基本の確実な定着を図る授業を一貫して行っております。さらに、保護者・地域が一体となって安心・安全を確保した環境で学習することが大切です。

赤平市では、次の2点を重点としております。

○早寝・早起き・朝ごはん、安定した規則正しい生活を送る。

○毎日、勉強する。学年×10+10分

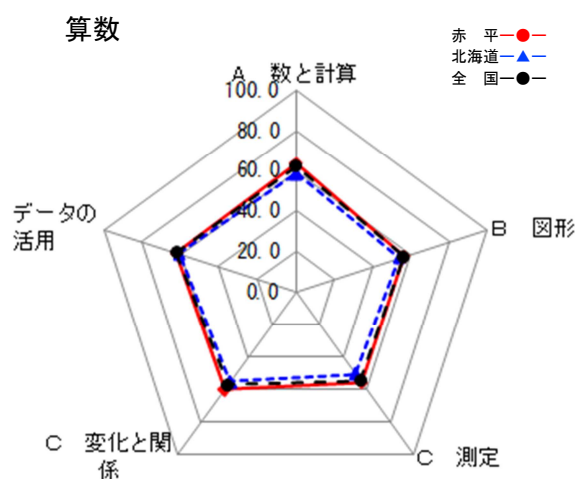
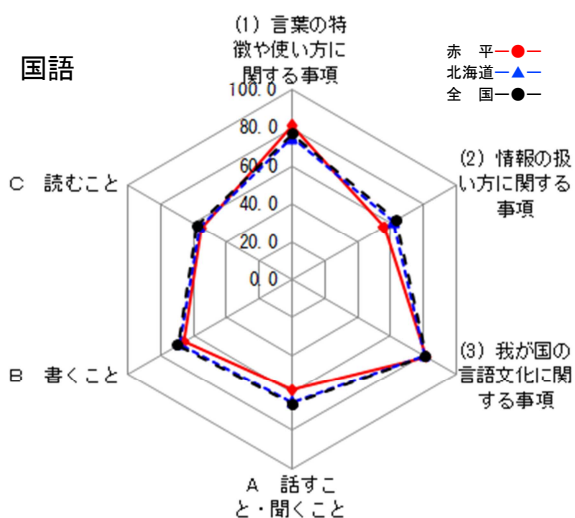
例：小1→20分、小6→70分、中3（9年生）→100分

ゲーム等の時間を
考えよう！

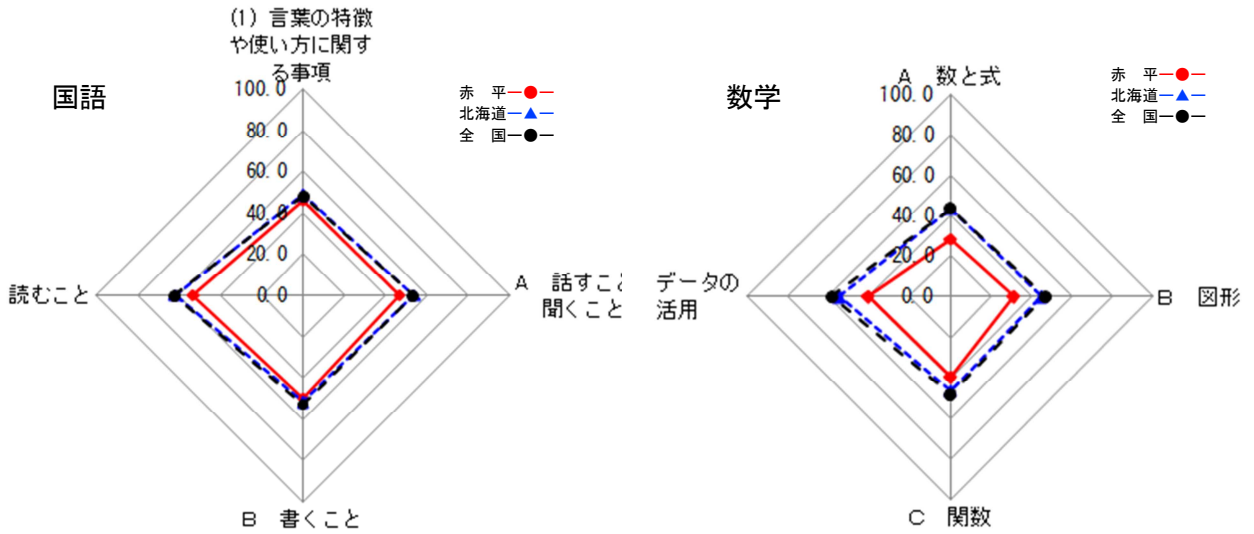
【全国学力・学習状況調査の結果】

4月に実施した全国学力・学習状況調査の国語と算数・数学の結果ですが、全国・全道と赤平市の正答率を問題別にレーダーチャートで掲載させていただきます。また、児童・生徒質問紙調査から生活と学習意欲につながる質問を取り上げて、全国・全道と比較いたしました。

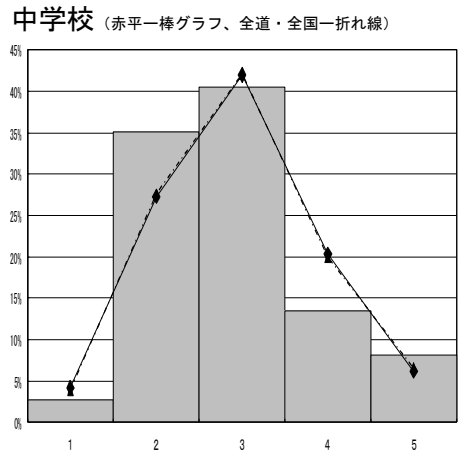
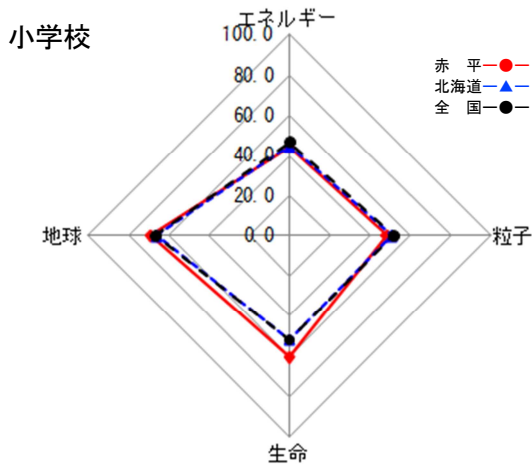
【小学校 正答率%】 国語：赤平64 北海道65 全国66.8
算数：赤平60 北海道55 全国58.0



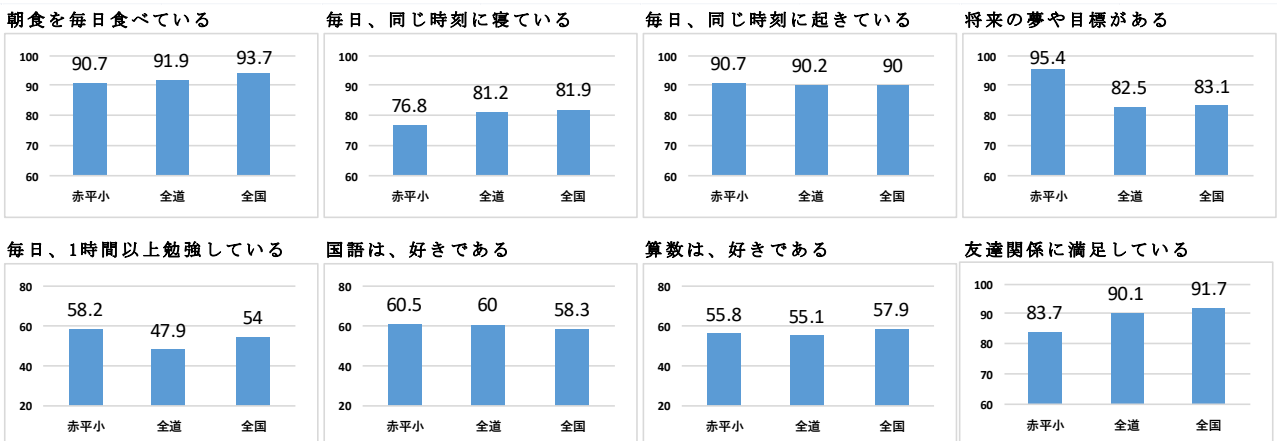
【中学校 正答率%】 国語：赤平49 北海道54 全国54.3
 数学：赤平34 北海道47 全国48.3



【理科 正答率%】 小学校：赤平64 全国66.8 北海道65
 中学校：全国一斉コンピュータ検査により5段階分布図(%)に変更

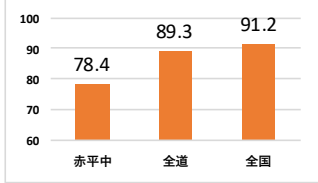


【小学校 質問紙調査】 生活習慣、学習意欲に関する項目

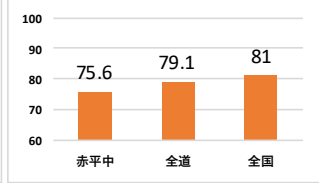


【中学校 質問紙調査】 生活習慣、学習意欲に関する項目

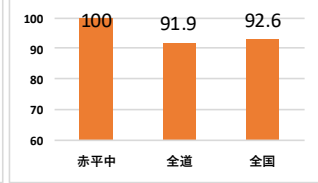
朝食を毎日食べている



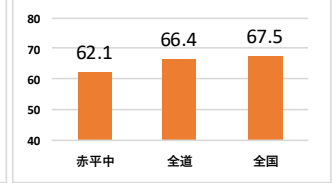
毎日、同じ時刻に寝ている



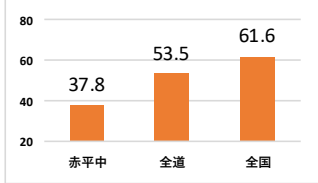
毎日、同じ時刻に起きている



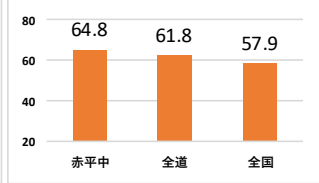
将来の夢や目標がある



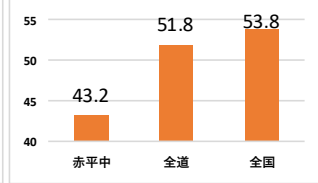
毎日、1時間以上勉強している



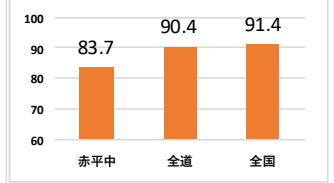
国語は、好きである



算数は、好きである



友達関係に満足している



【令和7年度 標準学力テスト (NRT) の結果】

上段：各学年の偏差値 (全国50とする)

下段：教科ごとの偏差値推移グラフ

中学3年生

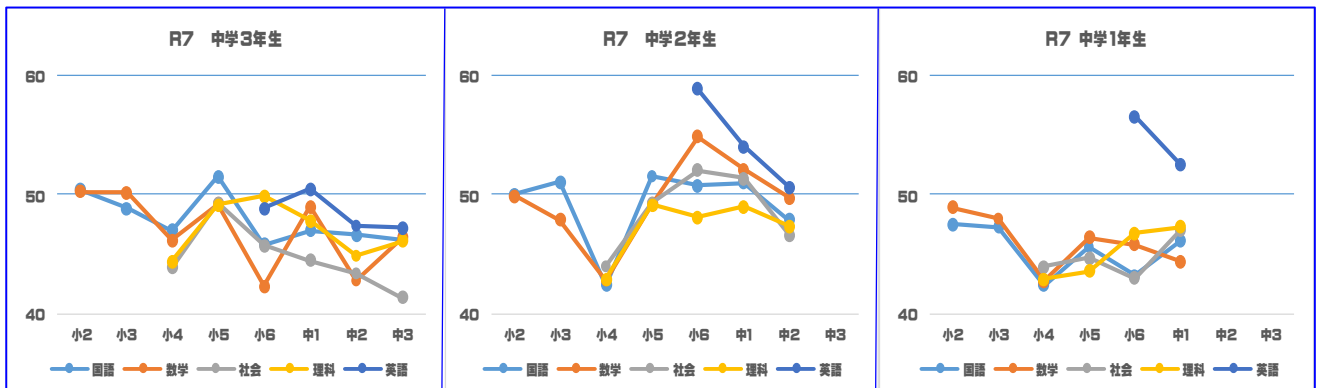
国語	数学	社会	理科	英語
46.2	46.4	41.4	46.1	47.2

中学2年生

国語	数学	社会	理科	英語
47.9	49.7	46.6	47.4	50.6

中学1年生

国語	数学	社会	理科	英語
46.1	44.4	47.0	47.3	52.5



小学6年生

国語	算数	社会	理科	英語
50.0	48.5	50.8	47.3	51.8

小学5年生

国語	算数	社会	理科
47.0	43.6	43.3	42.5

小学4年生

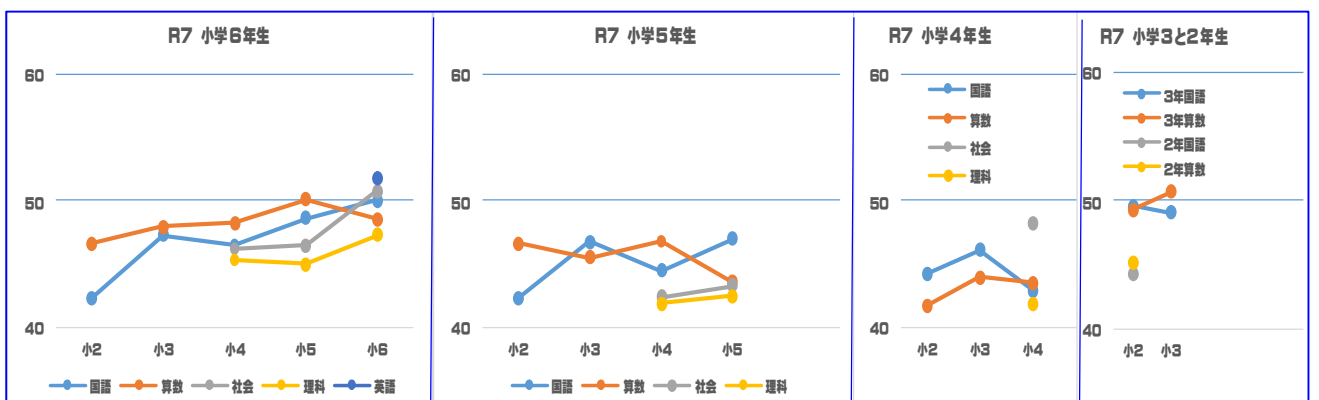
国語	数学	社会	理科
42.9	43.5	48.3	41.8

小学3年生

国語	算数
49.1	50.7

小学2年生

国語	算数
44.3	45.2



【小・中学校の学力向上の取り組み】

<授業改善の工夫について>

- 各学力テストの結果や日ごろの評価から、子どもたち一人一人のレベルまで分析を行い、授業改善と個に応じた指導方法を工夫します。
- 先生は、授業を充実させるための重点ポイントを設定しながら授業を参観し合い、意見交流を通して学び合う場を積み重ね、授業の質の向上に努めます。
- 子どもが、「考え」「発表し」「学び合い」「振り返る」場面を明確にして、毎時間、分かる喜びを保障する授業を展開します。
- 小・中学校で統一した授業スタイルを掲げ、すべての学年・学級において子どもたちに見通しを持った授業を提供します。
- 授業中の約束や学級の決まり事を統一し、これから小・中学校が共通することにより、学年や学級が変わってもこれまでと同様に安心できる学びやすい環境づくりに努めます。

<家庭学習の改善・充実に向けて>

- 「家庭学習チェックシート」を活用して、家庭学習時間や学習内容の実態把握を日常的に行い、うまく取り組めない子どもへの支援を行います。
- 学校として意図的に設定した宿題に取り組ませながら、家庭学習に自ら取り組む意欲を高めるように支援します。
- 家庭学習を提出した子どもたちには、丸付け、スタンプ、コメント等により、学習意欲が向上するよう、働きかけを工夫します。
- 家庭と連携して、家庭学習の習慣の定着と時間の確保が進むよう、学校だよりや学級通信、懇談会等でお伝えします。
- 朝の学習時間を設定し、家庭学習と関連づけて学習内容が定着する指導を行います。

【教育委員会の学力向上に係る支援策】

- 北海道教育委員会に義務教育指導班の指導主事派遣を要請し、よりよい授業づくりができるよう、指導力向上に向けた具体的な指導を行います。
- 教職員の資質向上においては、自己診断シート、全国教員研修プラットフォームの活用、各種研修案内の周知により、受講奨励や校内研修での活用を促進します。
- 個々のタブレット端末にAI学習ドリルを導入し、子どもの学習状況や進捗状況に合った学習支援を行います。
- 中学校においては、「英語検定」の助成を実施し、学習意欲と英語力の向上を支援します。
また、「公設塾」事業を通して、授業以外の学習機会の設定を進めます。